

平成 28年 5月 26日

敬愛短大附属幼稚園だより6月号



意欲はどうすれば育つのか



「うちの子は勉強もスポーツもやる気がなくて困っています。どうすればやる気になってくれるのでしょうか。親はじっと待つしかないのでしょうか。親として子どもにどう接したらいいのか、わが子のことでも悩んでいます。」子育て中の保護者の方から質問が多いのはこうした内容です。この問題を解決するためには、現在、心の力を鍛えることが大切だといわれています。最近、読んだ白石豊「心を鍛える言葉」の本の中から紹介します。（白石豊『心を鍛える言葉』NHK出版、2005）

この本では、心の力は鍛えることのできるものととらえ、それをメンタルトレーニングというそうです。心の力は、遺伝ではなく、生まれてから現在まで、何を経験し、どのように育ったかによるそうです。体を鍛えるのと同じように、きちんとしたメンタルトレーニングを行えば心を強くすることができます。最近のメンタルトレーニングでは、鍛えるべき心の力をメンタルスキルといったいくつかの要素に分け、そのスキルごとに具体的なトレーニング方法をとるそうです。いくつかのメンタルスキルの中で最初にくるのが意欲です。

意欲的に物事に取り組む心の力は、仕事や生活でも大切です。初めからやる気のない人はいません。途中でやる気がしぼんでしまうのです。その原因を考えていくと失敗などさまざまなことが考えられますが、それ以上に人の心に影響を及ぼしているのが言葉です。やる気をなくしている人の多くは、まわりからやる気をなくす言葉をかけられています。また、その言葉を自分が自分に言い聞かせているのです。

子どもたちの意欲を育てるためには、大人のどんな言葉かけが必要なのでしょう。子どもたちにこんな言葉かけをしていませんか。（1）子どもに完全を要求していませんか（2）欠点ばかりを指摘していませんか（3）常にほかの子どもと比較していませんか、いくつかある中の3つを紹介しました。まわりの大人が言葉かけを少し変えるだけで、子どもの心が変わってくるそうです。幼稚園では子どもへの言葉かけを大切にしています。ご家庭でも子どもの意欲につながるプラスの言葉かけをしてみませんか。



チャレンジ賞について



幼稚園では、昨年度に続いてチャレンジ賞を本年度も取り組みます。4月の終わりごろから子どもたちから「園長先生、チャレンジ賞はいつから始まるのですか」と質問されるようになってきました。小運動会の練習が終わったあと、年長組の子どもたちは一輪車の練習をしています。チャレンジが始まるといつでもできるように準備をしているのです。

チャレンジ賞は、子どもたちにいろいろなことに自分から挑戦し最後までやり遂げようとする気持ちを育てることがねらいです。子どもたちが自分の目標を自分できめ、自分でやりかたを工夫し何度も何度も繰り返し練習してその中でやり遂げることの満足感や達成感を感じることが大切だと考えています。あくまでも挑戦することは子ども自身が決めます。お友だちと一緒に取り組むことは大切ですが、お友だちとの競争ではないことを園で子どもたちにも伝えます。失敗しても挑戦する過程で子どもたちは多くのことを学びます。園では、一人一人の子どもの思いに共感しながら支援をしていきます。小さい挑戦を積み重ねることが大切だと考えています。3歳児の1学期は、園生活になれ安心して生活できることを目標にしていますので、2学期から取り組みを始めます。